

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を用いて行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

造影 CT を用いた深層学習ベース自動セグメンテーションによる腹部主要動脈分枝起始部の椎体レベル自動判定:血管造影・IVR 術前計画に向けた実行可能性・精度検証研究

1. 研究の対象

2021 年 9 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 31 日に当院で腹部造影 CT（動脈相を含む）検査を受けられた成人の方

2. 研究目的・方法

腹部の血管造影・IVR（画像下治療）を行う際、大動脈から分枝する腹腔動脈・上腸間膜動脈・腎動脈の起始部の位置をあらかじめ把握しておくことは、手技計画の一助となる可能性があります。本研究では、造影 CT 画像から、これらの分枝の起始部がどの椎体の高さに位置するかをコンピュータープログラム（人工知能技術を用いた画像セグメンテーション）によって自動的に判定する手法を開発し、放射線科医による目視判定との一致度を検証することを目的としています。本研究は治療法の効果を検証するものではなく、既存の画像データを用いた解析手法の妥当性を検証する研究です。

研究デザイン

単施設・後ろ向き観察研究（診断精度・一致度検証研究、介入なし、侵襲なし）

診療データ抽出対象期間

2021 年 9 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 31 日

研究実施期間

倫理委員会承認日 ～ 2031 年 8 月 31 日（データ抽出、自動判定パイプラインの実行、読影、統計解析、論文化を含む）

予定研究対象者数：150 例

主要評価項目：腹腔動脈・上腸間膜動脈・左右腎動脈の起始部椎体レベルについて、コンピュータープログラムによる自動判定と放射線科医による目視判定との一致度

※コンピュータープログラムによる自動判定結果と、放射線科医が画像を目視で読影して判定した結果とを比較し、一致度を検証します。解析はすべて院内のコンピューター上で行われ、画像データが院外に送信されることはありません。

副次評価項目：自動判定の技術的成功率、判定に要した処理時間、放射線科医 2 名による目視判定の読影者間一致度 など

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：腹部造影 CT 画像（動脈相を含む）、年齢、性別、身長・体重、CT 撮影目的、カルテ番号 等
※研究に用いる情報は研究用 ID を付与して仮名加工し、氏名等の個人を直接識別できる情報を削除したうえで解析します。照合表は研究責任者が院内のアクセス制限された環境で厳重に保管します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、診療上の不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：東京品川病院 放射線科 森谷淳二

住所：東京都品川区東大井 6-3-22 TEL：03-3764-0511（代表）

（2026 年 8 月 24 日作成）